

令和 2 年度

6 月補正予算  
事業概要説明資料  
(林政部関係)

所 属	林政部県産材流通課		
係 名	販路拡大係	内線	3015

## 新 林業・木材事業者によるWEBを活用した 新たなビジネス手法の導入等への支援

- 1 事業費 78,750 (0 → 78,750)
- |           |            |
|-----------|------------|
| 【財源内訳】    | 【主な使途】     |
| 国庫 78,750 | 補助金 78,750 |

### 2 背景・事業目的

新型コロナウイルス感染症の影響に伴う住宅展示場の休業や大規模な展示・商談会の中止等により、木材需要の多くを占める住宅の受注や、木材製品の新規受注が困難となっており、木材需要が大きく減少している。

このため、林業・木材事業者が行うWEBを活用した新しいビジネス手法の導入や、非住宅分野など新たな木材需要の創出を支援することにより、減少した需要の回復を進めるほか販路の拡大を図る。

### 3 事業概要

#### (1) 非対面型の営業や新たな木材需要の創出に向けた取組みへの支援 (45,000 千円)

WEBを活用した非対面型の営業・商談会の実施や、県産材を活用した部材の開発など、林業・木材事業者が行う新たなビジネス手法の導入等に対して助成する。

#### (2) VR技術を活用したデジタル住宅展示場の構築支援 (33,750 千円)

県内工務店や木材流通事業者等が連携して行うVR（仮想現実）技術を活用し、WEB上に開設するデジタル住宅展示場の制作経費の一部を助成する。

(款) 6 農林水産業費	(項) 5 林業費	(目) (3) 県産材流通対策費
(明細書事業名) ○木材利用推進対策費	県産材利活用推進費	

所 属	林政部県産材流通課		
係 名	販路拡大係	内線	3015

## 県産材住宅の建設支援の拡充

- 1 事業費 28,600 ( 80,000 → 108,600 )
- |           |            |
|-----------|------------|
| 【財源内訳】    | 【主な使途】     |
| 国庫 28,600 | 補助金 28,600 |

### 2 背景・事業目的

新型コロナウイルス感染症の影響に伴う、住宅展示場の休業や、対面営業の自粛に加え、消費マインドの冷え込みにより木材需要の多くを占める住宅需要が減少することが見込まれる。

このため、県産材を一定量以上使用して住宅を建設する施主に対する支援を拡充することにより、住宅分野における県産材の需要を喚起し、県内工務店を始め木材を供給する林業・木材事業者の経営を支援する。

### 3 事業概要

#### (1) 県産材を活用した住宅の建設促進 (28,600 千円)

構造材や内装材に加え、新たに住宅の外壁や木塀などを補助対象とし、県産材を一定量以上使用した住宅の建設者（施主）に対する助成額を拡充する。

##### ○県内新築タイプ（構造材）

「ぎふ性能表示材」を柱や土台など構造材の90%以上、かつ梁・桁など横架材に8 m<sup>3</sup>以上使用した場合、200 千円を追加助成。

##### ○県内新築タイプ（外構）

外壁や木塀などに「ぎふ証明材」や「ぎふ性能表示材」を一定量以上使用した場合、最大380 千円を助成。

(款) 6 農林水産業費 (項) 5 林業費 (目) (3) 県産材流通対策費 (明細書事業名) ○木材生産流通対策費 ぎふの木で家づくり推進費
--

所 属	林政部県産材流通課		
係 名	加工流通係	内線	3013

## 新 原木の供給調整のための支援

- 1 事業費 32,000 (0 → 32,000 )
- |           |            |
|-----------|------------|
| 【財源内訳】    | 【主な使途】     |
| 国庫 32,000 | 補助金 32,000 |

### 2 背景・事業目的

新型コロナウイルス感染症の影響により住宅分野を始めとする木材の需要が減少し、これに伴い原木の供給が過剰となり、価格が下落している。

このため、原木を一時的に保管し供給量を調整することにより、原木価格の低下を抑え、木材生産者の経営を支援する。

### 3 事業概要

#### (1) 原木供給調整対策事業費補助金 (32,000 千円)

原木供給量を調整するために、一時的に原木を保管するためのストックヤードの確保や、原木の運搬等に要する経費の一部を助成する。

(款) 6 農林水産事業費 (項) 5 林業費 (目) (3) 県産材流通対策費 (明細書事業名) ○木材生産流通対策費 県産材利用総合対策事業費
---

所 属	林政部林政課		
係 名	政策企画係	内線	3019

## 新 林産物の生産技術開発の推進

1 事業費	79,823 (0 → 79,823)	
	【財源内訳】	【主な用途】
	国庫 79,823	工事請負費 5,720
		委託料 3,778
		備品購入費 69,448

### 2 背景・事業目的

新型コロナウイルス感染症の影響により、木材やキノコなどの需要が減少している。同感染症の収束後の需要の回復を見据え、製品開発や品質向上に取り組む林産事業者への支援を強化するため、森林研究所において、新たな木質部材や付加価値の高いキノコの生産技術開発を行い、技術移転を進める。

### 3 事業概要

#### (2) 新たな木質部材の開発(48,691千円)

大径材の需要拡大を図るため、木造住宅の構造材でこれまで県産材の使用割合が低かった梁桁に使用できる木質部材の開発を行う。

#### (2) 高品質キノコ生産技術の開発(31,132千円)

高品質キノコの生産技術を確立し、キノコ生産者を支援するため、収穫後のキノコの品質低下を抑えるフィルムの技術開発を行う。

(款) 6 農林水産事業費 (項) 5 林業費 (目) (8) 森林研究費 (明細書事業名) ○森林研究所費 県単試験調査費
--

所 属	林政部森林整備課		
係 名	スマート林業推進係	内線	3196

## 新 木材需要回復後を見据えた林業の ICT 化の推進

1 事業費 133,902 (0 → 133,902)

【財源内訳】

国庫 133,902

【主な使途】

補助金 48,069

委託料 42,423

備品購入費 18,410

使用料 25,000

## 2 背景・事業目的

木材需要の回復後に、新型コロナウイルス感染症対策として求められる「3密」を避け、効果的に木材を生産できる体制を確保するため、林業事業者の ICT 化を推進する。

## 3 事業概要

### (1) 林業事業者等の ICT 機器導入支援(48,069 千円)

多人数で長期間を要する森林資源調査を、少人数かつ短時間での作業に転換できる「地上 3D レーザー計測器」等の ICT 機器の林業事業者等への導入を支援する。

### (2) 森林文化アカデミーにおけるデジタル林業指導者等育成(25,833 千円)

林業作業の ICT 化による省力化等を推進するため、森林文化アカデミーにおいて、ドローンや地上 3D レーザー計測器等のデジタル機器、森林技術者が高性能林業機械の操作方法を習得できる VR ハーベスタシミュレータを導入するとともに、これら機械の操作指導者を育成する。

### (3) 森林文化アカデミーにおける林業用無人化機械開発に向けた実証試験(60,000 千円)

林業作業の省力化と労働災害防止を図るため、森林文化アカデミーにおいて、建設工事現場等で利用が進む「高所無人掘削機」を林業作業(地拵え、下刈、除伐等、条件が過酷かつ多くの人手を要する育林作業)用に転換するための技術開発や実証試験に取り組む。

(款) 6 農林水産業費 (項) 5 林業費 (目) (3) 県産材流通対策費  
(明細書事業名) ○木材生産流通対策費  
木材生産モデル団地支援事業費

所 属	林政部森林整備課			林政部治山課		
係 名	林道係	内線	3192	治山係	内線	3166

## 新 森林土木工事の監督、災害時の調査の ICT 化の推進

1 事業費 8,624 (0 → 8,624)

【財源内訳】

国庫 8,624

【主な用途】

備品購入費 4,303

委託料 1,815

需用費 1,751

役務費 755

## 2 背景・事業目的

建設現場や災害調査現場でも新型コロナウイルス感染症拡大防止策の徹底が求められている。工事施工状況の確認や検査、災害調査等における「3密」を回避するとともに、業務の効率化を図るため、現場遠隔確認システムやドローン機器を導入する。

## 3 事業概要

### (1) 現場遠隔確認システムの導入(3,520 千円)

職員が事務所に居ながら工事現場等の施工状況の検査や工事受注者との打合せができるようにするため、ICT 技術を活用し、工事現場等で撮影した映像をリアルタイムで中継するシステムを導入する。

### (2) ドローン機器の導入(5,104 千円)

災害現場や危険個所の詳細な画像データを遠隔操作で取得するため、ドローン機器を導入し、現地機関に配備する。

(款) 6 農林水産業費 (項) 5 林業費 (目) (3) 県産材流通対策費 (明細書事業名) ○木材生産流通対策費 木材生産モデル団地支援事業費
--

(款) 6 農林水産業費 (項) 5 林業費 (目) (5) 治山費 (明細書事業名) ○単独事業 治山事業費
---

所 属	林政部恵みの森づくり推進課		
係 名	木育推進係	内線	3031

## 新 ぎふ木遊館における感染防止対策の強化

1 事業費	4,000 (0 → 4,000)		
	【財源内訳】	【主な使途】	
	国庫 4,000	需用費	1,107
		備品購入費	2,893

### 2 背景・事業目的

ぎふ木遊館における新型コロナウイルス等の感染症対策の強化を図り、利用者の安全安心を確保する。

### 3 事業概要

#### (1) 木育拠点運営推進事業費 (4,000 千円)

ぎふ木遊館において、感染の恐れのある発熱者の確認のための赤外線カメラ装置、木のおもちゃを殺菌消毒するための紫外線殺菌装置、換気や消毒による衛生面の予防対策強化のための紫外線照射機能付き空気清浄機等を整備する。

(款) 6 農林水産業費 (項) 5 林業費 (目) (2) 林業振興費 (明細書事業名) ○緑化推進費 緑化推進費
--



所 属	林政部治山課		
係 名	水源林保全係	内線	3165

## 新 白山白川郷ホワイトロードの利用支援

- 1 事業費 4,784 (0 → 4,784)
- |          |           |
|----------|-----------|
| 【財源内訳】   | 【主な使途】    |
| 国庫 4,784 | 補助金 4,784 |

### 2 背景・事業目的

新型コロナウイルスの感染拡大に伴う休業要請や外出の自粛等により、飛騨地域の観光産業は甚大な被害を受けている。

このため、飛騨地域の主要な観光資源である「白山白川郷ホワイトロード」への観光客・地元客の誘致を図り、飛騨地域の観光産業の活性化を図る。

### 3 事業概要

#### (1) 白山白川郷ホワイトロード利用支援の補助(4,784千円)

白山白川郷ホワイトロードの利用促進を図るため、利用料の半額相当及び広告宣伝費用を補助する。

(款) 6 農林水産業費 (項) 5 林業費 (目) (4) 林道費 (明細書事業名) ○白山林道事業費 白山林道整備事業費
--